



2021年10月1日

各位

会社名 株式会社フジ (コード番号 8278 東証第一部)
 代表者名 代表取締役社長 山口 普
 問合せ先 代表取締役専務 企画・開発本部長 松川 健嗣

第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の経営を取り巻く環境及び業績動向を踏まえ、2021年4月12日に公表した2022年2月期の業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2022年2月期第2四半期連結業績予想数値の修正 (2021年3月1日～2021年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 159,000	百万円 3,000	百万円 3,500	百万円 1,800	円 銭 47.15
今回修正予想 (B)	158,125	3,305	4,663	2,999	78.57
増減額 (B - A)	△875	305	1,163	1,199	—
増減率 (%)	△0.6	10.2	33.2	66.6	—
(ご参考) 前期実績	154,390	2,578	3,569	2,153	56.39

2022年2月期第2四半期個別業績予想数値の修正 (2021年3月1日～2021年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 154,000	百万円 2,600	百万円 3,100	百万円 1,500	円 銭 39.29
今回修正予想 (B)	152,065	2,753	3,612	2,457	64.35
増減額 (B - A)	△1,935	153	512	957	—
増減率 (%)	△1.3	5.9	16.5	63.8	—
(ご参考) 前期実績	145,565	3,045	3,582	2,476	64.85

2. 業績予想修正の理由

2022年2月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を勘案したものでございます。上半期の営業収益は、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令による大型SCへの休業要請や営業時間短縮要請の影響が想定以上であり、当初の予想をわずかに下回る見込みです。一方、利益項目におきましては、グループをあげて商品管理の徹底と定着しつつある新しい生活様式への対応を推し進めたことで売上総利益が増加し、コロナ禍の需要変化で業績悪化した子会社においては事業構造の再構築にも取り組んだ結果、営業利益は予想以上の数値となる見込みです。加えて、当初想定しておりました減損損失等の発生が少ないことなどもあり、経常利益、四半期純利益についても業績予想以上の数値となる見込みです。

上記の理由により、第2四半期連結業績予想および第2四半期個別業績予想を表記のとおり修正いたします。

なお、通期業績予想につきましては、いまだ収束が見通せない新型コロナウイルスの影響を考慮し、2021年4月12日公表数値を据え置きます。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上